

調査結果の概要と今後の取組について

丹波市立春日中学校

4月19日(火)に実施された令和4年度全国学力・学習状況調査の分析を行いました。その結果について概要をお知らせいたします。

しかし、この調査で測ることができるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一部でしかありません。したがって、本調査で測れていない学力や教育活動を含め、総合的に分析し、今後の教育活動に役立てていきます。

1 調査の概要

(1) 目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- ◇調査の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 内容

①教科に関する調査(国語・数学・理科)

- ◇身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。
- ◇知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力など。

②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

- ◇児童生徒に対する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- ◇学校に対する調査(指導方法に関する取組、指導方法の工夫、学校経営に関する取組、家庭・地域との連携の状況)

2 教科に関する調査の結果

(1) 全体の概要

今回の調査は「国語」「数学」「理科」の3教科で実施されました。調査結果は、いずれの教科も全国の平均正答率と比較して同程度という結果でした。また、無回答率も全国平均と同程度でした。ただ、分布状況を見るとやや2極化傾向にありました。今後は、個別最適な指導を工夫し、解消されるようにしていきます。

(2) 国語

【成果】

- ・全問正解や13問正解者という高得点者数は全国平均を上回っています。
- ・「書くこと」や「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、全国平均を上回っています。

【課題】

- ・「話す聞く」「読む」の観点や「言語の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られました。
- ・全問正解や13問正解者という高得点者数は全国平均を上回っていますが正解が4問以下の生徒数も一定数います。(やや2極化しています。)



【改善の方向性】

文章中の記述をもとに、条件に合った解答を作っていく力は、情報活用能力と考えられます。授業や考査の機会を有効に活用し、条件作文など課題を解決し、それをきちんと文章化する問題に取り組んでいきます。

漢字練習や慣用句・四字熟語などの言語に関する知識に関わる学習を、朝学習や授業の中で粘り強く行っていきます。

(3) 数学**【成果】**

- ・全問正解や13問正解者という高得点者数は全国平均を上回っています。
- ・関数領域において全国平均を上回っています。式・表・グラフを関連づけてとらえることができています。
- ・データの活用では全国平均を上回っています。

【課題】

- ・全問正解や13問正解者という高得点者数は全国平均を上回っていますが正解が4問以下の生徒数も一定数います。(やや2極化しています。)
- ・数と式の領域において課題があります。また、用語の理解や負の数の代入に課題があります。

【改善の方向性】

- ・「用語」や問いの内容を理解させるために、定義を自分なりの言葉で説明するなど、定着するための活動を取り入れていきます。
- ・基礎力を身につけさせるために、問題演習の量を増やしていきます。

(4) 理科**【成果】**

- ・評価の観点では、「知識・技能」の観点においてやや上回っています。
- ・内容では、「粒子」の領域で、全国平均をやや上回っています。
- ・化学変化を化学反応式で表す問題や、エネルギーで実験操作を選択する問題は、正答率が高くなっています。

【課題】

- ・観点別では「思考・判断・表現」が、領域別では「生命」の領域で正答率が全国平均をやや下回っています。
- ・「記述式」で全国平均より正答率がやや下回っています。
- ・図などについて、しっかりと読み取ることや、空間認知を深め、それを理論的に組み立てていく能力やグラフなどで処理していく能力が課題です。また、基礎的なことをもとに、身近な現象や生物などにも関連させ発展させていくことが課題です。

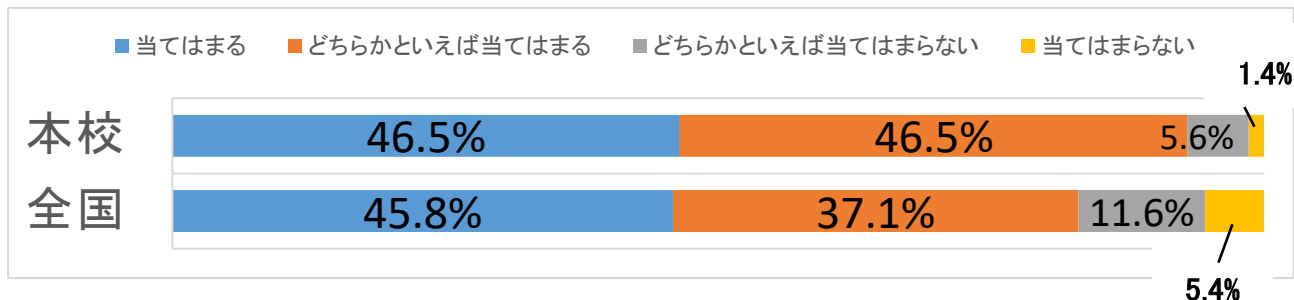
【改善の方向性】

- ・学習している事を、身近な現象や生物などにも関連させ発展させていく活動について、ICT等を活用しながら進めます。
- ・図やグラフから考察させたり、実験結果をもとに表やグラフを作成させたりします。
- ・物事を具体的に捉え、思考を積み上げていけるよう生徒間での討論をさせます。

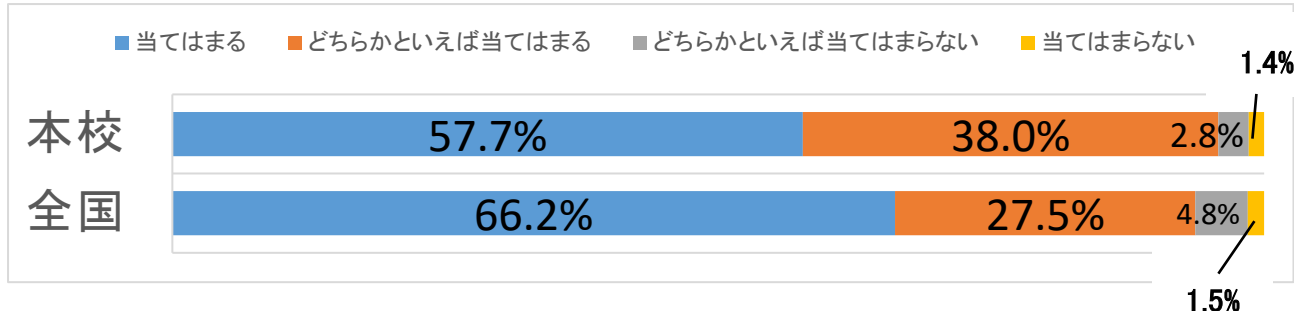
3 生徒質問紙の結果

学校生活

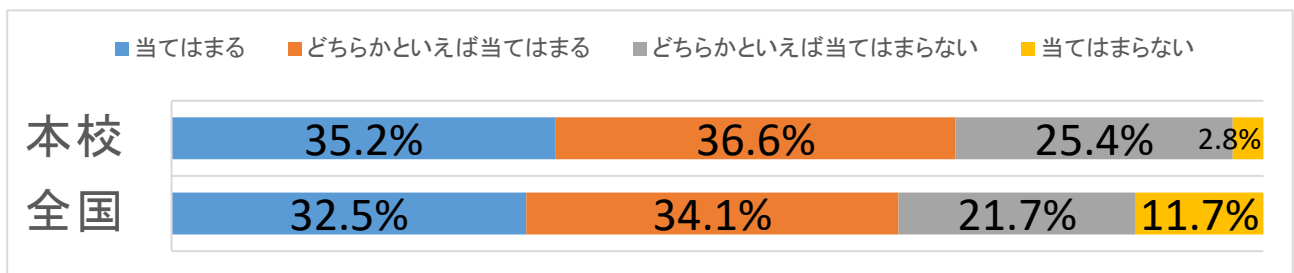
(1) 学校に行くのは楽しいと思いますか。



(2) 友だちと協力するのは楽しいと思いますか。



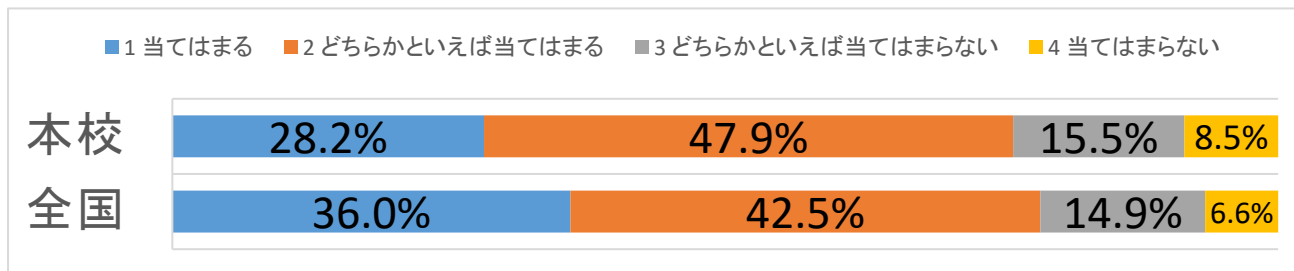
(3) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



いずれの項目も、肯定的回答が全国平均を上回っています。「傾聴・受容・共感」に基づいた、「生徒指導」「仲間づくり」「生徒支援」「学習支援」に取り組んできた成果であると思われます。今後も発展、継続させていきます。

自尊感情

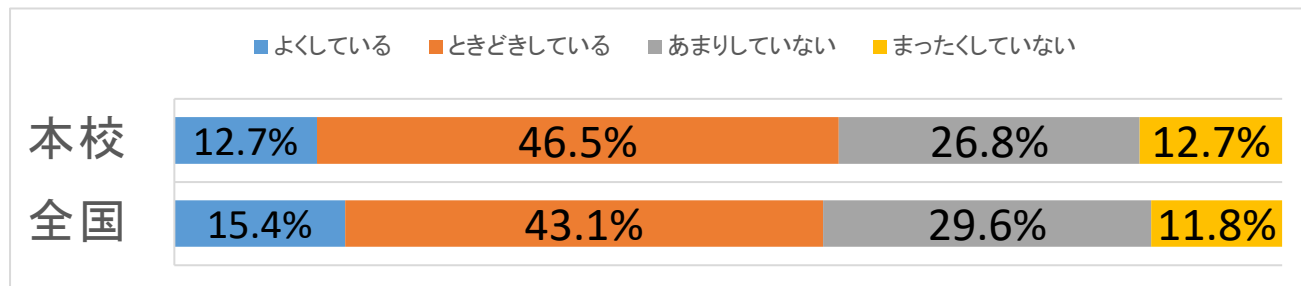
(1) 自分には、よいところがあると思いますか。



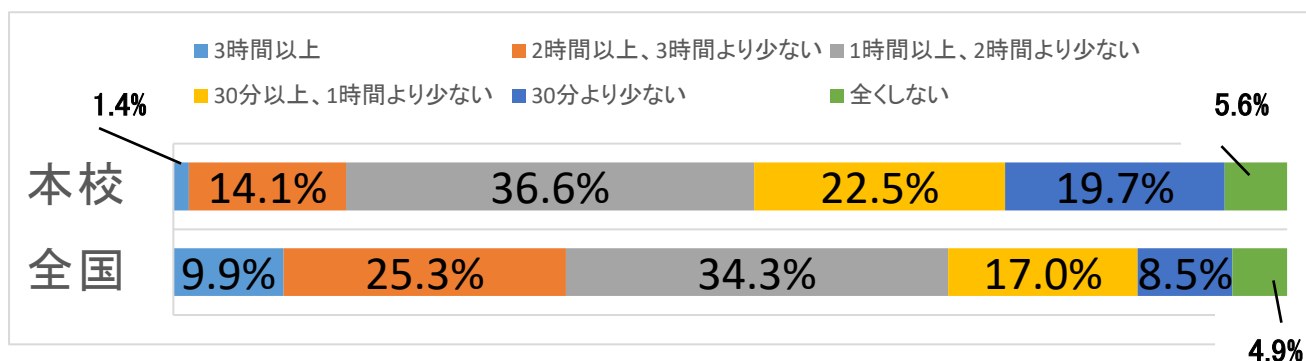
肯定的な回答は全国平均との差は若干あるものの、その差は詰まりつつあります。一人一人の成長を評価し、言葉かけをすることで、自己有用感を高めることをさらに進めていきます。

家庭学習

(1) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



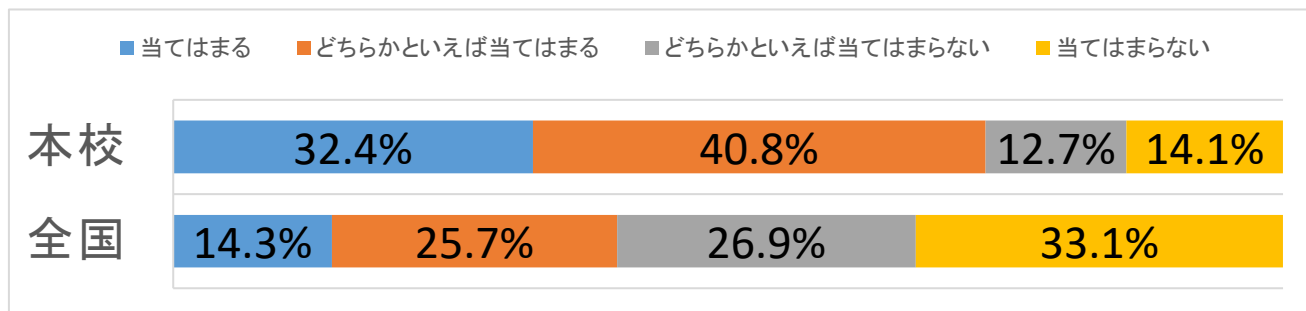
(2) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



自分で計画を立てて学習することに肯定的な回答は、全国平均とほぼ同じ割合です。ただ家庭学習の時間は「30分より少ない」と回答した割合が高く、家庭学習の時間が十分確保できているかは課題です。具体的な計画の立て方を支援するとともに、キャリア教育や進路学習を進める中で、将来への夢や目標を持つことを促し、学習に対する目的意識と、各教科学習への興味・関心を高めていく授業づくりを行っていきます。

地域連携

(1) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



コロナ禍にもかかわらず、肯定的な回答が非常に高い結果となっています。ふるさとを愛し、ふるさとの将来を考える力をさらに育むとともに、地域とともにある学校づくりを進めていきます。

「安全・安心な学校づくり」に向け、「心のアンケート」や「生活アンケート」などの調査をもとに、集団の向上や個々への支援、生活習慣の向上をさらに進めていきます。また、「居場所づくり」を推進し、意見を自由に言えたり、相手の意見をしっかり聞けたりする環境づくりに努めていきます。